

—2017年を振り返る。

ゼリー飲料の相手先ブランドによる生産(OEM)部門は、受注が好調で、洞戸工場(関市)は、年初から24時間フル稼働となっています。一番の悩みは人手不足。採用難の中、女性活用ではパート従業員を積極的に募集し、高齢者活用では定年退職した人を再雇用したに加え、外国人も派遣などで対応するなど、何とか乗り切ってきました。今後でも人手不足の解消は、最重要課題です。少子高齢化が伸展する中、ものづくりを維持するため、外国人の



株式会社 秋田屋本店



代表取締役社長 中村 正氏

門戸を開き、彼らの力を借りることも必要ではないでしょうか。

—今後、強化する事業は。

一般消費者向け自社製品事業を強化します。昨年、用途ごとに風味が異なる

一般向け自社制

る8種類のハチミツ「はちみつDAY S」、スーパードラッグストア向けにプロポリスを使ったキャンディー「鼻ポリス」を発売。一般消費者向け事業は15年から本格化していますが、

今回の商品を軸に販売を伸ばします。

—業界の展望は。

養蜂部門では、ミツバチの飼育者が増加しています。趣味で飼育する定年退職した人らが増えており、ミツバチ

製品事業を強化

や関連資材の販売が好調です。また、食品の安心安全意識の高まりから、国産ハチミツの需要が高まっています。国内だけでなく海外でも中国を中心に富裕層が買い求めており、供給が追い

つかない状況です。こうした中、トレーサビリティ(生産流通履歴)を重視し、国内の信用力のある生産者から原料を集めて安定供給に努めています。

—業界で注力している取り組みは。

養蜂業の発展に加え、環境との調和を図るためにも、ミツが採取できる樹木の植樹を行っています。ミツバチの生産物であるハチミツのほか、ローヤルゼリーやプロポリス、ミツロウなどを確保するだけでなく、里山を復活させるためにも、植樹は今後も重要と考えています。



新発売 専用はちみつシリーズ「はちみつDAYS」
 ヨーグルト専用・コーヒー専用など8種類

概要

〒500-8471 岐阜市加納富士町1丁目1番地
 TEL.058-272-1221

創業 1804年 養蜂部創設/1887年
 設立 1961年11月28日
 資本金 5,000万円
 従業員数 330人
 事業内容 ミツバチ産品・養蜂資材の製造・販売、医薬品・食品製造業
 事業所 城南事業所(養蜂部)
 営業所 東京営業所
 工場 洞戸工場、薬師工場、本巣屋井工場、本社工場
 養蜂場 伊自良養蜂場
 関連会社 日本養蜂株式会社

オンラインショップ <http://akipure.com>

<http://www.akitayahonten.co.jp>